

増田英次 スポーツ報道写真展（2007-2014） 『アスリートの輝き』

卓越した技術、それを可能とした凄まじい努力、勝利への執念、そして強靱な精神力・・・アスリートが放つ輝きには、人々を引きつけて止まない魅力があります。

本業では、企業間の交渉や紛争等で神経をすり減らすことも少なくない私ですが、アスリートの軌跡や輝きを追うことによって、私はエネルギーを得、本業でも新たな挑戦や闘い・解決に向けて走り続けることができます。

そのような空間で得た私の体験を是非皆様にも共有いただくことができればとの思いから、このたび、今まで撮り溜めてきた報道写真をまとめて発表することにしました。

無名の高校生、大学生、社会人から、浅田真央、上村愛子、金妍児、アデリナ・ソトニコワ（ソチオリンピック女子フィギュアスケート金メダリスト）、杉山愛、太田雄貴、そして2014年USオープンで大活躍した錦織圭、セリーナ・ウィリアムズ（2014年USオープン女子シングルス優勝者）、マリン・チリッチ（同男子シングルス優勝者）選手等のトップアスリートが見せた輝きを、ご来場の皆様には存分に堪能いただけたら幸いです。また、競技会場が織りなす風景も時に目を奪うばかりの美しい様相を表すことがあり、そのような写真も今回は織り交ぜましたので、同時にお楽しみください。

本業でお世話になっている方々には、私の「アナザーワールド」も垣間見ていただけると嬉しいです。

出展作品 : 29点

増田 英次 プロフィール

ますだえいじ。1963年岐阜県生まれ。弁護士として増田パートナーズ法律事務所を経営する傍ら、スポーツの分野において水谷章人氏に師事（スポーツ写真プロ育成セミナー水谷塾第6期修了第43号）し、また、水中の分野では清水淳氏に師事ながら、写真家として、スポーツ写真・水中写真を撮り続けている。

一般社団法人日本スポーツプレス協会顧問、オリンパスグローバルプロサービス会員、弁護士・ニューヨーク州弁護士。新著に「人生を変える正しい努力の法則」（かんき出版）がある。

使用機材

<カメラ>

Canon EOS-1D Mark II N, 1DX, 7D

Nikon D3s, D4, D4s, D810

Olympus OM-D E-M1

<レンズ>

Canon EF70-200mm F2.8L IS USM, 同 F2.8L IS II USM, EF300mm F2.8L IS II USM,
EM 400mm F4 DO IS, Extender EF2 × III

Nikon AF-S NIKKO 147-24mm f/2.8 G ED, AF-S NIKKO 70-200mm f/2.8 G ED VR II,
AF-S NIKKO 400mm f/2.8 G ED VR II, AF-S TELECONVERTER TC-20 AF-S NIKKO
70-200mm f/2.8 G ED VR II E III

Olympus ZUIKO DIGITAL ED 8mm F3.5 Fisheye